

令和5年度授業改善推進プラン

- (取組内容)
- ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
 - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
 - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

美術科

★教科・観点について

学力向上のための調査・期末テスト及び学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。 <○成果 ▲課題>

観点	1 学期			2 学期			3 学期
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析 (授業改善・評価)	具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
知識・技能	1年	○積極的に活動に取り組んでいる。 ▲技能は身に付いてきているが、学習習慣がなく、知識が十分に定着していない。	・くり返し学習できる課題を用意し、学習習慣を通して知識の定着を図る。	1年	○絵の具の使い方が身に付いてきた。○自分で作品に取り組んでいる。 ▲資料の活用が身に付いていない。	・調べ学習を取り入れるなどして、資料集や教科書などを活用する機会をつくる。 ・動画などで実践の様子を見せる。	・色の整理など、復習を取り入れることで定着を図る。
	2年	▲生徒によって学習意欲に差がある。 ▲決められた時間内に自分で取り組むことが難しい生徒がいる。	・ショートステップで時間を区切り、確実に取り組ませる。	2年	○ゴッホの作品や知的財産権について認識を深めることができた。○学習方法を工夫している様子が見られた。▲資料の活用が身に付いていない。▲絵の具の使い方が定着していない。		・道具等の使い方について、確実に習得させる。
	3年	▲集中が続かず、取組に時間が掛かる生徒がいる。 ▲習得した知識を活用することが不十分。	・学習を生かす場面や発信方法を検討する。	3年	○石彫に積極的に取り組むことができた。○道具の名称や目的が定着している。▲資料の活用が身に付いていない。▲道具を活用しきれいでないため制作に時間が掛かってしまう。		・鑑賞の内容について、確実に理解させる。
思考・判断・表現	1年	○発言が多く、自分の思いを作品に表現することに前向きな生徒が多い。 ▲考えを詳しく説明することが難しい。	・ICTを活用し、意見交流に取り組ませる。	1年	○小学校などの経験を意識して、制作に取り組むことができた。○自分の視点から振り返りを深めている生徒が多い。▲作品制作意欲に差がある。	・振り返りシートを活発に学習に取り入れる。 ・鑑賞の機会を増やし、美術的な見方を深める。	・絵の具の使い方について、自分で試しながら考えることができた。
	2年	▲自分で考えて取り組むことが難しい生徒がいる。 ▲自分の思いや考えを深めることができていない。	・なるべく参考作品を見せ、制作のイメージがしやすいようにする。	2年	○自分なりのアイデアを考え、表現を工夫していた。○友達や作品や美術作品に関心がある。▲美術の視点での学習の振り返りが難しい。▲片付けが不十分。		・アイデアを考え、表現や制作手順を工夫することができた。
	3年	○自分の考えを出すことができる。 ▲自分で創意工夫することが難しい。(模写に偏っている。)		3年	○自分の表したいイメージをもち、表現を工夫することができた。▲イメージが広がらず、自分の作品の特徴を捉えられない。		・自分の表したいイメージをもち、表現を工夫することができた。・美術作品への関心をもたせる必要がある。
主体的に学習に取り組む態度	1年	○おおむね集中して取り組んでいる。 ▲学習記録を残す習慣が身に付いていない。	・片付け時間の掲示など活動の区切りを周知し、意識させる。	1年	○友達や教師と対話しながら作品を工夫し、学習を深めている。○自分からスケッチなどに取り組んでいる。▲学習意欲に差がある。	・写真や映像などのメディアを提示して、より上を目指して作品を制作したいと思えるようにする。 ・机の配置を工夫し、学習規律を徹底する。	・振り返りシートの活用が生徒によって差があるため、指導を徹底する。
	2年	▲指示された範囲でしかやらない。新しい技法を取り入れるなど、自分で学習を高めていく意欲が低い。 ▲鑑賞時の発言など、言語活動が乏しい。	・作品や振り返りシートの講評を生徒たちに伝え、よい例を見せる。	2年	○友達との違いを楽しみながら取り組んでいる。▲一人で集中して学習を深めていくことが難しい生徒が多い。		・教科の主体的な学習の姿勢について考えさせる。
	3年	▲自分の表現に自信がなく、作品の取り掛かりに時間が掛かる生徒が複数いる。 ○自分なりに進めようとする姿勢が見られる。		3年	○授業前に早めに来て制作を始める生徒が多い。○手を止めず、積極的に制作している。▲自分自身を美術的に高めようとする生徒が少ない。		・自ら学習について振り返る時間を確保する。
研修課題 (キャリア教育に関連した教科としての取組)	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法		1 学期の成果と課題	1 学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容	2 学期までの成果と課題	1 年間の成果と今後の課題	
・生徒の主体性を育む授業 ・地域や小中との連携を生かした取組	・柔軟な視点で活動を捉え、目的意識をもって取り組ませる。 ・小中連携の視点から授業研究に取り組む。 ・振り返りシートを活用する。		・自分で目的をもって取り組ませることが難しいことがわかった。ショートステップで学習を進めていく。 ・カッターナイフや絵の具の習熟度が低い。くり返し学習させて定着を図る。 ・振り返りの定着ができていなかった。早めに片付けさせ、振り返りの時間を確保する。	・小中高の系統的な版画表現について研究授業を実施した。 ・振り返りシートの中でやり取りをし、個々の学習を深めた。	・題材設定において、主体的な構想の設定が難しい。創意工夫のために自由度を残しているが、限られた時間の中で自分で発想を絞って進めていくことが難しい様子である。形状やテーマをもう少し具体的に限定した方がよいかもかもしれない。	・自由度のあるテーマ設定により、制作の取り掛かりに差が見られた。制作時間を確保するためにも、テーマの設定や題材理解を工夫していく。 ・振り返りシートを紙にして、習慣化させていく。	